

新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に関する地方自治体へのヒアリング結果等について(2月26日現在)

項目		代表的な課題	
ワクチン情報等の提供	532	ワクチン情報提供	204
		十分な広報	168
		国からの説明	129
ワクチンの確保・分配	1110	分配計画の早期確定	916
		国からの説明	67
		ワクチン情報提供	45
ワクチンの運搬・管理・保管	531	ワクチン運搬	194
		ワクチン保管	175
		V-sys	67
医療関係者等人員の確保	1051	医師・看護師の確保	861
		事務スタッフの確保	102
		医療機関の広域連携	57
接種会場の設定・確保	517	接種会場の確保	192
		移動手段	92
		接種会場の三密回避	50
接種ルート	223	集団接種・個別接種	151
		人口規模に見合った接種方法	29
接種管理	425	マイナンバー	89
		接種予約方法	84
		優先順位（現場での柔軟化など）	83
費用負担・接種必要物資	841	単価や報酬の引上げ/臨時交付金	721
		シリンジ・注射針などの確保	69
離島・過疎地域	123	人口に見合った接種方法	32
		医師・看護師の確保	22
副反応への対応	117	副反応への緊急対応策	99
その他	524	国からの説明	155
		国や県の関与	50
		国による相談窓口	33
合計	5994		

項目	代表的な課題等
ワクチン情報等の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンの副反応などの住民が不安がっている情報が届かない。住民宛のわかりやすい説明や接種意義などを掲載した説明文書を早急に提示して欲しい。（香川県善通寺市） ・ワクチンを接種したこと、またはワクチンを接種しないことを理由に、差別や誹謗中傷などが起こらぬよう啓発に努めてほしい。（愛媛県松野町） ・報道からの情報と、市に伝わる情報を、統一していただきたい。現状は、新聞やテレビの情報、ワイドショーなどでの情報の方が、行政ルートを通じて知ることのできる内容よりも早いという面があるため、住民も職員も混乱する要因にもなっている。（佐賀県多久市）
ワクチンの確保と分配	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の接種スケジュール確定のため、国において十分なワクチンの確保と分配体制の構築を早期に実現していただきたい。（茨城県常陸太田市） ・3種類のワクチン供給が予定されているが、接種間隔や保管温度などの仕様がそれぞれ異なり、接種体制構築への影響が大きいことから、各ワクチンの供給時期や供給量などを早期に把握したい。（栃木県宇都宮市） ・接種計画を策定中ですが、国からのワクチン供給スケジュールが示されず、接種計画が確定できない状況。どのワクチンが、どの時期に、どれくらい供給されるのか、ワクチン供給スケジュールを示していただきたい。（福岡県川崎町） ・速やかな接種体制の構築には、ファイザー社のワクチンを小分けにして移送することで多くの接種医療機関を確保することも必要であり、ワクチンを小分けし、移送する際の注意事項や手順をなるべく詳細に示してほしい。（鳥取県米子市） ・ファイザー社のワクチンは原則配送されたものを小分けして別の医療機関等に配送することはできず、例外的な対応として冷蔵保存のワクチンを若干箇所の医療機関に移送できる条件を検討中とあるが、そこが決定しなければ医師の確保数の試算を出すこともできない。（奈良県橿原市）
ワクチンの運搬・管理・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・アストラゼネカが早期に接種可能になった場合は大きな不安はないが、ファイザーのみ接種可能な状況が続くと、個別の医療機関へワクチンを配送しなければならず、その仕組み作りに不安がある。（滋賀県長浜市） ・ファイザー社のワクチンの運搬については、依頼を受けてくれる運搬業者を探している。運搬ができないとかかりつけ医での接種が進まない。ワクチンの扱いに長けており、かつ確実な薬品製剤の卸の業者に運搬を委託できる体制を国から依頼してほしい。（京都府福知山市） ・個別接種してもらえる診療所へのワクチン輸送体制確保。（徳島県吉野川市） ・ディープフリーザーを置く場所と接種会場が違うので、ワクチンを揺らしてはいけないなど接種会場に運ぶ場合などのワクチンの取り扱いにはとても気を使う。停電時、屋外で使うような小型の自家発電機で対応するくらいにしか対策ができていないため不安がある。（兵庫県市川町） ・基本型接種会場に置かれるディープフリーザーについては、ワクチンの管理を行うことから、設置を拒む医療機関もある。（兵庫県丹波市） ・ワクチンの保管は本庁舎（自家発電設備あり）を予定しているが、集団接種会場は別の会場を想定しており、接種会場を多数設置するとワクチンの使用ロスが発生する懸念がある。（石川県かほく市） ・V-SYSなどほかのシステムの導入は慎重に願いたい。（富山県射水市） ・V-SYSの運用開始時期が示されているが、ネットワーク環境等の事由もあり、町で業務の効率化に支障が出ている。（福井県美浜町）
医療関係者等人員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の数が足りず計画をたてづらい。地域の大小によって課題が異なり、地域にあわせた運用方法が不明確。（熊本県南関町） ・市内に医師や看護師等の医療資源が乏しいため、国が示す接種スケジュールを進めることは厳しく、現実的に無理な状況。（三重県鳥羽市） ・感染者対応に追われている中で、ワクチン接種に必要な医療従事者の確保に不安がある。（栃木県鹿沼市） ・短期で集中的なワクチン接種の円滑な実施にあたっては、マンパワー（医師及び看護師）と財源の確保が必須となる。そのため、日本医師会・日本看護協会へより一層の協力をお願いするとともに、必要な財源を確実に確保していただきたい。（奈良県王寺町） ・集団接種会場でのスタッフの確保（案内、受付、予診、接種、観察等）。平日、土日を問わず早期に接種を完了させるには、医療スタッフ（医師、看護師）に加え、応援スタッフの確保できるかがポイントになる。（京都府宇治市）
接種会場の設定・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・集団接種会場については、体育館などを使用することになっているが、すでに数か月先まで予定の入っている施設が多く、会場確保に苦慮している。（静岡県掛川市） ・ワクチンを接種するサテライト型接種施設の設置について、基本型接種施設1カ所につき3カ所程度を目安とされているが接種施設は多いほうが望ましいことから、地域の実情に応じて、増やすことができるよう柔軟に対応していただきたい。（秋田県能代市） ・集団接種を町有施設で検討しているが、1日130名程度を実施するにも駐車場、場所の広さや部屋数など検討課題がある。（徳島県上板町） ・高齢者の移動手段。（和歌山県太地町、長野県売木村） ・ソーシャルディスタンスを取りながら多くの接種者を一カ所で安全に集団接種する上で多くの問題点がある。町内にある規模の大きい会場は、個別スペースが少なく受付、検温、問診、診察や接種その後の健康観察スペースなど、人が安全に混在することなく、動線ができる場所の確保がとれるかなど不安部分が多い。（奈良県河合町）
接種ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・職場での集団接種の範囲は。市町村の接種との棲み分けをどうするのか。（佐賀県みやき町） ・接種施設は、基本型、連携型、サテライト型に分類されているが、集団接種を行ったり、既存の診療所を活用したり、住民目線での望ましい接種施設を設定することも重要であり、細部については医師会や自治体に任せることも必要である。（岩手県金ケ崎町） ・持病等がわかっている所で接種して欲しい。（和歌山県印南町） ・高齢者もかかりつけ医で接種できるようにしてほしい。（青森県新郷村） ・自治体は集団接種を長年実施しておらず、集団接種に関するノウハウが不足している。限られた期間でより多くの対象者に安全かつ迅速に接種するため、町内医療機関の先生方との連携や庁内での相当な調整が必要となる。（徳島県つるぎ町） ・川崎モデル、練馬モデルなどは参考になる面も多いが、どれも、大規模自治体や都市部でのシミュレーションであり、本町のような小規模自治体にそのまま当てはめられないこともある。また、今後、想定される個人クリニックでの個別接種（冷蔵5日間での接種）の接種体制についても、このようにやれば出来るという現場医師の提案や工夫等が共有出来ると良い。（山梨県昭和町）
接種管理	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムが、各自治体・医療機関のシステムと連動が可能であり、整合性のあるデータ活用も出来るものにならないか。（石川県小松市） ・マイナンバーを活用した「ワクチン接種新システム」と厚生労働省の「ワクチン接種円滑化システム（V_SYS）」の管理について不明点が多く、事務量増加は町にとって負担。（埼玉県毛呂山町） ・高齢者施設の高齢者への接種の際に、介護保険2号被保険者については、本人の状態や年齢により「基礎疾患を有する者」、「60～64歳の者」、「上記以外の者」のいずれかでの接種となっているが、65歳未満の方も多数入所していることから、クラスター対策として同施設内は年齢制限なく実施することが望ましいと考える。（千葉県我孫子市） ・住所地外での接種について、現状では接種医療機関所在地の市町村が「住所地外接種届出済証」を発行する必要があるが、風しん第5期定期接種のように、接種券の提示のみで接種ができるよう検討していただきたい。（岡山県新見市） ・医療関係者と同時期に、警察・消防・介護なども実施したい。（大分県日田市） ・予約者が当日に来ないケースが多々あると見込むため、年齢不詳の登録制の空席待ちを認めていただきたい。（山口県田布施町）
費用負担・接種必要物資	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種費用はすべて国が負担とのことだが、負担金、補助金の申請・交付段階での足切り、減額等のないように願いたい。（兵庫県姫路市） ・職員の時間外勤務手当は補助金の補助対象外であるが、担当課職員は通常業務に加えてワクチン接種業務を行うこととなる。集団接種は医師等の確保のため、土日、祝日の実施が中心となることが伝えられており、土日、祝日の勤務が続くことになる。補助金の上限額の範囲なら時間外勤務手当についても補助対象としていただきたい。（鳥取県三朝町） ・集団接種の医師、看護師等の報酬単価が地方任せであるため、医師会との調整が難航。全国統一単価を示してほしい。（京都府向日市） ・医師、看護師の報酬について、地域ごとにはばらつきがあるので、都市圏単位で統一するべきではないか。（福岡県須恵町） ・ワクチン接種開始に伴い、消耗品の確保が困難となる事が予想される。必須となる消耗品が確実に確保可能な体制としてほしい。（岐阜県関市）
離島・過疎地域	<ul style="list-style-type: none"> ・人口規模が小さく、高齢化率の高い有人国境離島でのワクチン接種については、ワクチンの効率的な消費と迅速な接種の完了、資材の運搬・設置及び人員の移動など、諸事情を考慮した場合、国が示す年齢等の優先順位に関わらず、高齢者に該当しない者も高齢者と同時に接種を行うことが望ましいと考えるため、こうした特例を是非認めていただきたい。（長崎県西海市）
副反応への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・当村は集団接種を想定しているが、接種後の経過観察が不安である。高齢者等で万が一でも副反応があり救急搬送が必要な場合、自衛隊等に依頼して待機していただく等の対応も必要と考える。こうしたフォロー体制にも支援を願いたい。（沖縄県南大東村） ・接種後のアナフィラキシーショック等の副反応が生じた際の対応や医療機関への受入等については、様々な状況、課題が想定される。国において調整、情報提供を行うなど、自治体において接種を円滑に実施できるよう、必要な措置を講じていただきたい。（埼玉県八潮市） ・病院以外の接種場所の場合、救急用品だけで対応できるのか不安である。また副反応の発生時、すみやかな搬送先の手配・受け入れ体制が必要であると考えるが、救急対応について消防や病院への説明を市町村が行うことで医療現場が混乱すると思われる。国や県で統一した流れや手順を示してほしい。（奈良県大和高田市）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を要しても、確定的かつ一元的な情報の発信をお願いしたい。（茨城県大洗町） ・国からの情報は変更・追加が多い。また、QA資料も現在4種類出されている。情報の整理を行ってもらわないと、自治体での接種が円滑に行われな恐れがあることから、ワクチンの薬事承認のタイミングにあわせて、一度資料をまとめてもらいたい。（埼玉県秩父市） ・県からの指針をはっきり出し、舵取りをお願いしたい。（熊本県美里町） ・市民が接種を受ける際に必要な安全性・有効性・副反応のリスク等に関する情報を十分周知するとともに、接種後の副反応疑い等に係る相談等に対応する国のコールセンター等の一元的な相談窓口を設置してほしい。（山梨県甲府市）